

編集後記

第30号をお届けします。今号には、例年よりも多い7本の投稿がありました。塚本論文は、先秦期から六朝期までの詩文に見られる、「ナナメ」を表す語のイメージについて考察したものです。上原論文は、王褒「四子講徳論」の構成と表現に注目し、益州刺史王褒の政治的实践と結びついた言説として読み直す試みです。矢田論文は、陸機「九愍」が『楚辞』の九体から何を継承し、何を変化させたのか、屈原形象に焦点を絞って考察したものです。田島論文は、郭璞『爾雅注』のうち、韻文形式のものに注目して詳細に分析しています。鈴木論文は、温庭筠の前半生に作られた望郷詩を取り上げ、情景描写の変化について論じたものです。鈴木氏はまた、温庭筠「書懷一百韻」の訳注稿作成にも挑戦しています。緒方論文は、韻書『中原雅音』の先行研究を整理するとともに、『中州音韻』の音注との比較対照をおこなったものです。会員の皆様には、次号にも是非、多くのご論考をお寄せいただきますよう、よろしく願いいたします。なお、今号の編集にあたって、土屋育子教授、張佩茹准教授、菅原尚樹助教にご尽力いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

(代表 矢田尚子)

執筆者紹介（論文掲載順）

塚本 信也	東北学院大学教養教育センター教授
上原 尉暢	関西学院大学非常勤講師
矢田 尚子	東北大学大学院文学研究科教授
田島 花野	東北大学専門研究員
鈴木 政光	東北大学大学院文学研究科博士後期三年の課程 指導認定退学
緒方 哲也	東京国際大学言語コミュニケーション学部准教授
鈴木 政光	東北大学大学院文学研究科博士後期三年の課程 指導認定退学

東北大学中国語学文学論集 第30号

2025年12月30日発行

発行者 東北大学中国文学研究会（代表：矢田尚子）

発行所 東北大学文学部中国文学研究室

980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 電話 022-795-5977
